

「防災と安全・安心のまちづくり」「くらし・福祉」を支える予算編成を！

来年度予算についての要望書を幸山市長に提出

11月7日、日本共産党地区委員会と市議団は、幸山市長に、来年度予算編成について、約160項目の要望書を提出し、くらしと福祉を守る予算編成を求めました。

3.11 東日本大震災から8カ月。未曾有の大災害から教訓とすべは、防災のまちづくりと原発からの速やかな撤退と再生可能な自然エネルギーへの転換を図るなど、いのち最優先のまちづくりを進めることです。

また、国による「税と社会保障の一体改革」により、消費税増税と社会保障の切



り捨てが一体となって進められようとしており、身近な自治体の役割が問われています。

防災と安全・安心のまちづくり

- ・ 原発ゼロ、自然エネルギーへの転換を国に働きかけること。
- ・ 自然エネルギー（太陽光、小水力、風力、バイオマスなど）推進に積極的に取り組むこと。
- ・ 東日本大震災を踏まえた「地域防災計画」の見直しを進めること。
- ・ 防災面からも、消防5署体制を速やかに実現すること
- ・ 防災・備蓄倉庫を増やし、物資の配備を拡充すること。
- ・ 「自主防災クラブ」への支援を拡充すること。

保険・福祉分野

- ・ 一般会計からの繰り入れを増やし、国民健康保険料の引き下げを行うこと。
- ・ 収納率の向上につながらない資格証明書の発行を中止すること。
- ・ さくらカードの利用者負担を引き上げないこと
- ・ 介護保険の改悪（要支援1・2を保険給付の対象外にする、所得200万円以上を対象に2割負担の導入）を中止するよう国に求めること。
- ・ 待機者が3000人を超える特別養護老人ホームなどの整備を行うこと。

子育て・教育分野

- ・ 少人数学級をすべての学級へ。
- ・ 小中学校へエアコンを設置すること。
- ・ 学級支援員をすべての小中学校に配置すること。
- ・ 児童育成クラブの第2子、3子への減免拡充。
- ・ 子ども医療費無料化の対象を中学生まで拡充すると同時に、自己負担を撤廃すること。
- ・ 認可外保育園に対する助成額を抜本的に拡充すること。
- ・ 5歳児検診の実施を。

政令市・まちづくりなど

- ・ 3000人規模の国際会議場などハコモノ優先をやめること。
 - ・ 産文会館の再開を。
 - ・ 住宅リフォーム助成制度の実施で、地域経済の振興を。
 - ・ ワンコインで利用できるなど、市民が使いやすい区バスを。
- そのほか、農漁業支援策の充実、地下水保全・温暖化対策など環境対策の推進、動植物園の有料化の見直しなどを要望しました。

【控え室から】

子どもの成長と運動会

なすまどか

先日、子どもが通う保育園の運動会に参加しました。1歳半になる娘にとって初めての運動会でしたが、滑り台に「よいしょよいしょ」と登る姿など、家では見ることができない子どもの成長にうれしくなりました。

また、印象的だったのは、年長さんたちの跳び箱です。それぞれの子もたちが選んだ高さで挑戦をします。緊張のドキドキやワクワクが溢れだした子どもの跳躍に、会場の全ての人が声援を送ります。失敗してもそこで終わりではありません。子どもたちの、「失敗してもう一度挑戦したい」とのおもいを尊重し、全ての子どもが飛び終えるまで跳び箱は続きます。最後の一人が、元気がいっぱい踏切台を蹴り、お尻が跳び箱を超えた瞬間：会場全体が我がことのように喜び雰囲気、心がジーンとなり、涙が出ました。こうありたいと願う子どもの素直な思いを支えるため、保育者や保護者が力を合わせる。子育ての楽しさを改めて実感し、子どもが大好きになっても素晴らしい運動会でした。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 777

2011年11月20日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

(後期高齢者広域連合第2回定例議会報告)

後期高齢者広域連合議会が11月7日、午後1時からホテル熊本テルサで開催されました。2010年度決算審査では、益田牧子市議と荒木俊彦大津町議が質疑と反対討論を行いました。一般質問を行い、健診・人間ドッグの充実と国の財政交付金確保や審査支払い手数料の単価引き下げ、3ヵ月ごとの医療費通知などの経費削減を行い、剰余金を活用し、来年度「保険料引上げ」の中止を求めました。

質疑・一般質問の時間を増やし、議会の活性化を!

広域連合議員の低い議会出席率 53.1%~78.1%

議会名	第1回定例会	第1回臨時会	第2回定例会
定数	32	32	32
出席議員	22	25	17
欠席議員	10	7	13
欠員	0	0	2
出席率	68.8%	78.1%	53.1%

地方議会の常識では考えられません

10年度の広域連合議会の議員の出席率は、左表のように、低調です。

益田議員は、高齢者の命・健康に係わる議会であり、出席率を高め、九州でも一番短い質疑5分、一般質問10分の改善を求めました。

3ヶ月短期保険証をせめて6ヶ月へ改善を!

保険料の収納対策として実施されている短期保険証の発行件数が、1721件で、昨年より、583件増加しています。

益田議員は、幸山連合長に、「熊本市の国保は、本年から3ヶ月の短期保険証から6ヶ月に延長した。慢性疾患を持つ高齢者の場合、せめて6ヶ月に変更すべきだ」と改善を求めました。収納対策には、親切な個々面接での対応こそ大切です。

短期保険証発行の多い上位5市の推移

市町村名	11年8月	10年11月
熊本市	804	580
天草市	147	106
八代市	92	69
人吉市	78	42
玉名市	69	40
県下の合計	1721	1138

11年度発行0の5町村:美里町、玉東町、南関町、和水町、五木村

2010年度は68億円の黒字決算 12・13年度保険料の引上げはストップを!

益田議員は、11年度の決算見込みと次期保険料の改定について質疑を行いました。「10年度からの繰越への保険料剰余金は約53億円、本年度は、震災の影響で、国の超過交付金交付が望めず、単年度収支が赤字になる見込みです」と答弁。

次期保険料は「保険料剰余金は、30億円台の後半の見込みであり、この財源は、次期保険料の上昇抑制財源に全額当てる」と答弁がありました。

民主党は、「高齢者の負担増はしない」と公約しており、国への増額要望と保険料引上げ中止を求めました。

健診負担は九州最高、受診率は最低8.84% 幸山連合長「受益者負担」と健診無料化を拒否

荒木俊彦町議は、保健事業の不用額2億3670万円を質し、「受診率が高い自治体では、医療費が少ない」ことを示し、受診率を高めるために、健診費用無料化を求めました。

幸山連合長は、「自己負担800円は、受益者負担の原則で医療機関での検査と同様に1割程度」と答弁し、無料化を拒否しました。

九州では6県が健診無料化

健診自己負担の有料は福岡と熊本のみ。熊本は最高額、一方で、受診率は九州で最低。健康を守るのは、自治体の大事な役割であり、受益者負担はなじみません。

九州各県の健診自己負担額と受診率~熊本は最低!

九州の県名	健診負担額	受診率	
		目標値	実績値
沖縄	0	26.00%	26.67%
大分	0	22.00%	20.90%
宮崎	0	17.90%	17.28%
福岡	500円	16.00%	15.98%
鹿児島	0	15.00%	13.65%
佐賀	0	12.35%	10.90%
長崎	0	13.00%	10.72%
熊本	800円	20.00%	8.84%
全国		27%	22.62%